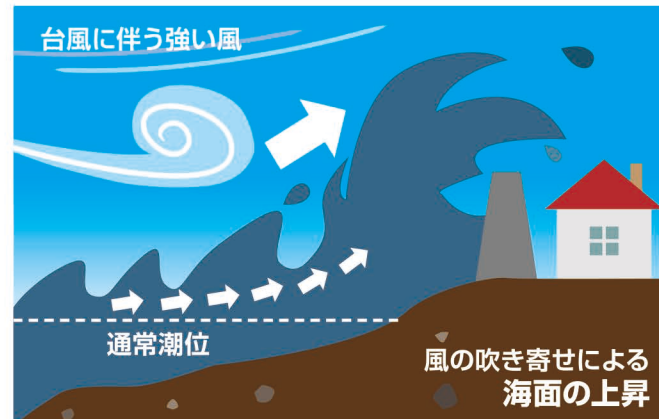
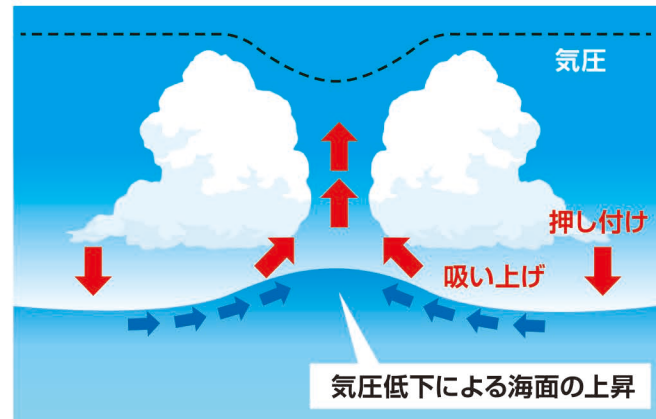


高潮とは

高潮は、台風や発達した低気圧などに伴い、気圧が下がり海面が吸い上げられる効果と強風により海水が海岸に吹き寄せられる効果のために、海面が異常に上昇する現象です。

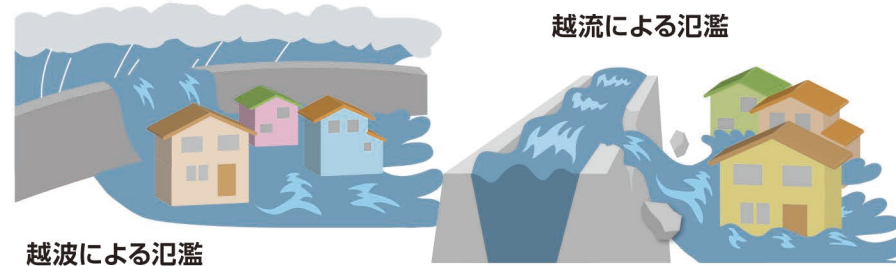
高潮発生メカニズム



主な浸水原因について

氾濫の種類

- ①高潮による堤防・護岸からの越流
- ②高波による堤防・護岸からの越波
- ③洪水による河川堤防からの越流



避難指示等について

気象庁の情報	和木町の連絡・指示	みなさんのとるべき行動
普段通り	気象等の情報収集	●気象情報・空の変化に注意 ●周りより低い場所など、危険箇所を把握 ●避難場所や避難ルートを確認しておく
高潮注意報	高齢者等避難 高潮警報となる恐れがある場合に高齢者等避難が発令されます	●避難準備を始めてください。 ●お年寄り、子ども、妊婦さん、障がいがある方など避難に時間を要する方は、早めに避難してください。 ●一部の避難所が開設します
高潮警報	避難指示 高潮警報が発令された場合、避難指示が発令されます	●お互い助け合って避難場所へ、避難を開始してください。
高潮特別警報	緊急安全確保 非常に危険な状況です。身の安全を確保してください	●ただちに避難してください ●避難できない場合は、命を守るための最大限の行動をしてください

普段からの心構え

もしもの時に備えて、普段から心構えをしておきましょう。情報は、自ら積極的に取りに行くようにしておきましょう。

避難場所、経路の確認

- 災害毎に、どこへ避難するか、どこを通るか事前に確認しておきましょう。
- ※津波、高潮など災害毎に避難場所は違います。



持出品の確認

- 避難時の持出品を、事前に確認しておきましょう。
- 荷物は歩けるだけの量にしましょう。
- 時間が無い時は、荷物を置いてすぐ避難しましょう。



避難の呼びかけに注意

- 普段からテレビやラジオなどの情報や、役場や消防などの呼びかけに注意しておきましょう。
- インターネットで防災情報を確認してみましょう。



高潮災害から避難する時には

避難をする際にも危険がたくさんあります。何よりもまずは人命が大事です。危険と感じたら、自ら進んで事前避難しましょう。

自分から早めに避難する

- 風雨が強くなる前に避難しましょう
- 避難の呼びかけにはすぐに応じましょう。
- 暗くなると危険です。夜になる前に避難しましょう。



避難の服装

- 避難時は運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。
- 歩ける深さは大人でも膝下までが目安です。
- 大人は子どもから手を離さないでください。



足元に注意!

- 浸水すると道路と水路の区別もつかなくなります。
- 棒など長いもので深い場所がないか確認しながら歩きましょう。



隣近所に知らせてあげる

- 避難する時には、近隣へ声を掛けあいましょう。
- 出来れば一緒に事前避難をしましょう。

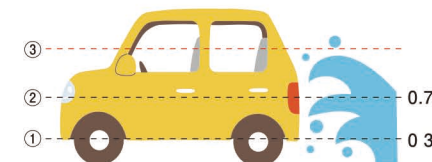
逃げ遅れたら無理はしない

- 避難する時間が無かったら、無理に避難せず、自宅のできるだけ高い場所や、近くの安全な建物へ避難しましょう。



車は使わない!

- 災害時に自動車で避難しないでください。



- ① (水深30cm) 水でエンジンが動かなくなる。
- ② (水深70cm) 水でドアが開かなくなる。
- ③ (水深がドアの上) 車ごと流される。

